



NEWS RELEASE

2003年6月18日
株式会社エヌジェーケー

NJK、Linux 対応のビジネス・インテリジェンス・ツール 「DataNature/E Linux Server 対応版」を発売

株式会社エヌジェーケー（東証2部 本社：東京都目黒区中目黒4-8-2 代表取締役社長：谷村 直志、以下NJK）は、Linux市場のビジネスアプリケーション分野の拡大を図るべく、Linux Server上で動作するビジネス・インテリジェンス・ツール「DataNature/E（データネチャー/エンタープライズ）」のLinux Server対応版を6月24日より販売開始します。

「DataNature/E」は、NJKが独自に開発した特許技術BUI（ボタン・ユーザー・インターフェース）を実用化したビジネス・インテリジェンス・ツールです。ERPやCRMに代表される基幹業務データをそのまま使って、新たなプログラムを作成することなく、そのデータから自動的に生成される“ボタン”をクリックするだけの操作で誰でも簡単に戦略的なデータ活用が行えます。今回の「DataNature/E Linux Server 対応版」は、2002年1月の発売以来、抜群の操作性とコストパフォーマンスの高さで、各方面から高い評価を頂いているWindows対応「DataNature/E」のサーバー機能をLinuxに対応させた製品です。

近年、Linuxはその安定性、信頼性ならびにコストパフォーマンスの高さから、サーバー用OSとして注目され、最近ではミッションクリティカルな業務アプリケーションやよりエンタープライズな環境への導入ケースも増えており、ビジネス・インテリジェンス分野でのニーズも非常に高まっています。

「DataNature/E Linux Server 対応版」の登場によって、Linux Serverのユーザーは、Windows Serverの場合と同様に、操作性とコストパフォーマンスに優れたビジネス・インテリジェンス環境を容易に構築できるようになります。

NJKは、今後戦略的プラットフォームにLinuxを位置付け、国内の50社以上のパートナー企業と販売およびサポート体制を強化し、Linuxシステムの採用を検討する多くの企業を対象に、積極的に提案していきます。

また、今後「DataNature/E」のオプション「Web連携機能」を始め、BUI特許を採用した製品をLinux市場に投入していく計画であり、より一層ユーザーニーズにマッチした製品を提供し、Linux市場の拡大に努めていきます。

この発表について、以下の方々より賛同文を頂いております。

ターボリナックス株式会社 代表取締役社長 矢野広一氏

「ターボリナックス株式会社は、NJKの「DataNature/E Linux Server 対応版」の発表を歓迎いたします。Linuxは、データベースのプラットフォームとしても確実に普及しており、それに伴いより多くのソリューションの展開が可能となってきました。すでに他のOSプラットフォームで実績のある「DataNature/E」のLinux対応というNJKのLinuxへの積極的な取り組みを受けて、ターボリナックスはNJKとの協業体制を強化し、Linux市場の拡大に努めたいと考えています。」

ミラクル・リナックス株式会社 代表取締役社長 佐藤武氏

「ミラクル・リナックスは、DataNature/EのLinux Server対応版出荷開始を心より歓迎いたします。ミラクル・リナックスは、今年3月にNJKと包括的な戦略提携をし、Linux分野における共同技術検証、マーケティング活動ならびに長期サポートソリューションを推進してきました。今回のDataNature/E Linux対応版出荷により、「MIRACLE LINUX」上において、更に安定性とコストパフォーマンスに優れたビジネス・インテリジェンス環境をお客様へ提供できると期待しています。

今後もミラクル・リナックスは、NJKと協業を行い、Linux基幹システムにおいて安定した環境を共同で提案し、市場を拡大していきます。」

レッドハット株式会社 代表取締役 平野正信氏

「レッドハット株式会社は、NJKによるLinuxに対応した「DataNature/E」の発表を歓迎いたします。当社では、企業に最適なLinuxプラットフォームにソリューションとして「Red Hat Enterprise Linux」を提供しています。企業におけるLinuxの活用範囲が広がると共に、業務を効率化するアプリケーションに対するニーズも急速に高まっています。「DataNature/E」の登場により日本におけるLinux採用が一層拡大するものと期待しております。」

日本電気株式会社

クライアント・サーバ販売推進本部 マーケティングマネージャー 岩山光雄氏

「NECは、データ活用ツール「DataNature/E」に対応した「Linux on Express5800サーバ」製品を出荷しており、お客様から大好評を得ております。

機能、性能、品質、価格等全ての面で極めて優位なデータ活用ツール「DataNature/E」と国内I Aサーバ・シェアNO.1のExpress5800サーバにより、全てのインダストリーのお客様に最良の価値を導き出すビジネス・インテリジェンス環境をご提供いたします。」

NECネクサソリューションズ株式会社 取締役常務 上ヶ島信之氏

「NECネクサソリューションズ株式会社は、NJKによるLinuxに対応した「DataNature/E」の発表を歓迎いたします。

「DataNature/E」は、操作性や価格、機能面で非常に優れており、Linuxシステムに最適なビジネスアプリケーションだと考えております。今回の発表によってLinuxビジネスアプリケーションの市場がより拡大されていくことを期待します。NECネクサソリューションズ

ンズは今後もNJKとのパートナーシップをより一層強化してお客様にご満足頂けるソリューションの提供を行なってまいります。」

株式会社SRA 取締役 マーケティングカンパニープレジデント 渡邊肇氏
「株式会社SRAはこの度、NJKが「DataNature/E Linux Server 対応版」の製品発表をされたことを歓迎いたします。

SRAはLinux環境における、システム導入から運用保守までのワンストップサービスを提供しており、NJKと共にLinuxビジネスについて積極的に推進しています。」

株式会社テクノフェイス 取締役（次期代表取締役社長） 栗田好和氏

「Linuxソリューションを推進する当社にとって、BI分野のデータ活用ツールとして定評があるDataNatureがLinux対応したことより、Linuxのエンタープライズ環境への適用を促進する切り札になると期待しています。」

（株式会社テクノフェイスは、北海道に人材や資産を集結し、オープンソースデベロップメントを世界に発信する為のコーディネーター企業として活動。日立ソフトウェアエンジニアリング、横河電機、北海道電力グループ、NTTコムウェア、日本アイ・ピー・エムなどが出資。）

以上

【本件に関する問合せ先】

株式会社エヌジェーケー

ニュースリリース

経営企画部 遊佐 英彦（ゆさ ひでひこ）

TEL：03-5722-5700

E-MAIL：yusa-hd@njc.co.jp

製品

ソフトウェアパッケージ事業部マーケティング部

齋喜 峰隆（さいき みねたか）

TEL：03-5722-5766

E-MAIL：saiki-mn@njc.co.jp

Web サイト：http://www.njc.co.jp/datanature/

本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

参考資料

DataNature/E Linux Server 対応版 動作環境

サーバー機能

基本ソフトウェア：TurboLinux8 Server、RedHat Linux7.2 / 7.3、
MIRACLE LINUX Standard Edition Version 2.1
TurboLinux Enterprise Server 8 にも対応を予定。

本体（CPU）：上記基本ソフトウェアが支障なく動作する環境

推奨メモリ：256MB以上（最低128MB以上）

ディスプレイ：256色以上、解像度1,024×768ドット以上

対応データベース：PostgreSQL 7.1以上、Oracle 9i for Linux

IBM UDB v8.1.0 for Linux

別途DBに対応したODBCドライバが必要です。

クライアント機能

基本ソフトウェア：Windows98 / 2000 / ME / NT4.0 / XP

本体（CPU）：上記基本ソフトウェアが支障なく動作する環境

推奨メモリ：128MB以上（最低64MB以上）

ディスプレイ：256色以上、解像度1,024×768ドット以上

DataNature/E Linux Server 対応版 標準価格

DataNature/E 基本セット（1サーバー / 5ユーザー・ライセンス）：900,000円

DataNature/E サーバーオプション DBアクセス機能：200,000円

DataNature/E Linux Server 対応版 販売目標

平成15年度100セット

DataNature（データネチャー）について

データネチャーは、株式会社エヌジェーケーが国内および米国で取得したBUI特許（操作ボタンの生成、検索および表示に関する一連の特許）を全面的に実用化することで、既存のデータから操作ボタンを自動生成し、プログラムを一切必要とせずにOLAP等に代表されるデータ分析の最新機能（スライス&ダイス、ドリルダウン等）をボタン選択だけの簡単な操作で自在に使うことができるようにしたソフトで、エンドユーザーによる本格的なデータ活用を容易にしました。

データネチャーは、1996年5月にバージョン1.0の発売を開始。簡単な操作で多様なデータ活用およびデータ分析を行うことができ、パソコンに熟知していないエンドユーザーでも自動的に生成されたボタンで簡単に操作を行うことができるため、分かりやすく使いやすいとして、「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー'96」（財団法人ソフトウェア情報センター）を受賞するなど、各方面から高い評価を得ています。

2002年1月に、Windowsに対応したクライアント/サーバー型の『DataNature/E』（データネチャー エンタープライズ）を発売し、また、3月にはDataNature新バージョン（V4.0）を発売しました。現在約4,500社（ライセンス数は5万5千ライセンス）で使用されています。